

参考資料(別紙1の記載例)

○月○日 ○県△地域の○による水道施設被害状況(○/○ 00:00現在)

担当:

1. 基礎情報				2. 被害情報						3. 対応状況											
都道府県	①確認状況	②確認日時	③事業者名	④被害発生地区名	⑤被害発生状況・原因	⑥最大断水戸数	⑦家屋等損壊地域における戸数	⑧断水発生日時	⑨今後の断水の発生・拡大見込み	⑩現在断水状況		⑪応急給水			⑫応急復旧			⑬復旧見込み	⑭課題	⑮減水状況(時間給水等)	⑯断減水解消日時
										復旧戸数	未復旧戸数	(給水車対応、飲料水の配給等)		応援要請状況	要請先と応援状況	(系統変更、復旧工事等)					
○○県	○	7月1日 15:00	□□市	○地区付近	浄水場が冠水 土砂崩れにより配水管が破損	40,000		6月25日 16:00		25,000	15,000	5地点の給水拠点に1tの給水タンクを設置し、9時～18時まで実施 応急給水車20台により9時～18時まで実施(直営1台、応援水道事業者19台) 応急給水車2台で病院と福祉施設に給水(自衛隊)	要請済み	合計 21台 日本水道協会 16台(19水道事業者) ○●市(協定) 3台 自衛隊 2台	施設の被害状況を確認の上、点検、清掃、修理を行い、6/30に約50%の送水を再開【済】 浄水場と配水管の復旧作業を実施中	要請済み	日本水道協会の手配により、●○市が浄水場の復旧計画作成を支援	7/9までに復旧予定			
○○県	○	7月1日 15:00	△△市	△地区付近	取水場が冠水し、機器が故障	7,000		6月25日 16:00		0	7,000	応急給水車4台により9時～18時まで実施(直営1台、応援水道事業者3台)	要請済み	合計 3台 日本水道協会 2台(■□市及び□■市) ○●市(協定) 1台	機器の交換作業を実施中	不要		7/2までに復旧予定			
			△△市	×地区付近	水源に土砂が堆積 土砂崩れにより導水管が破損	100		6月25日 16:00		80	20	応急給水車1台により9時～18時まで実施(直営1台)	不要		別系統からの給水を実施中 導水管の復旧作業を6/28から開始 水源の排泥作業を本日から開始	不要		7/3までに復旧予定		80戸に対して22:00～6:00の時間帯は配水停止	
○○県	○	7月1日 15:00	●●町	●地区付近	土砂崩れにより配水管が破損 一部地域で停電	2,000		6月25日 16:00		600	1,400	応急給水車3台により9時～18時まで実施(直営1台、応援水道事業者2台) 応急給水車1台で病院と福祉施設に給水(自衛隊)	要請済み	合計 3台 日本水道協会 2台(△▲市) 自衛隊 1台	水道管の一部が復旧【済】 6/28から配水管の漏水調査及び復旧工事を実施中	要請済み	日本水道協会の手配により、△▲市と▲▲市が管路の応急復旧作業を支援	復旧した地区から、順次給水開始中	電源を確保したい		
合計																					

○災害発生直後の時点では、記入可能な事項について記入いただき、報告をお願いします。

○新たに記入、変更した事項は赤字で記入してください。

①『確認状況』は、「○」(確認済み)、「×」(未確認)、「-」(確認不要)から選択すること。

『未確認』とは確認が必要、または必要か否か不明であるが、連絡が取れない場合。『確認不要』とは当該災害において被害の発生が無いと見込まれ、確認が不要である場合。

②『確認日時』には、都道府県が事業者に状況を確認した最新の日時を記入すること。

③『事業者名』には、貴管下の事業者名を記入すること。

災害発生時に迅速に対応できるように、事前に貴管下の事業者名を記入しておくこと。

④『被害発生地区名』には、被害が発生した地区名を記入すること。

被害発生状況・原因により地区や系統毎に切り分けて記入できる場合には、状況・原因毎に④～⑦について別々の行に記入すること。

⑤『被害発生状況・原因』には、発生している被害内容や原因について説明を記入すること。

例：「豪雨により地下水源の濁度が上昇」「土砂崩れにより導水管が破損」「地震により配水管が破損」「土砂崩れのため立入ができず被害状況不明」等

⑥『最大断水戸数』には、断水が発生した場合に、断水した最大の戸数を記入すること(⑦における家屋等損壊地域の戸数は含めない)。

災害発生の初期段階において断水している戸数が未確定の場合にも、判明している被害発生状況から推定される断水戸数を記入すること。

その場合、戸数の後に【未確定】と記入すること。

例：「125【未確定】」

⑦『家屋等損壊地域』とは、地震や豪雨による土砂崩れ等により家屋・道路等が大きく損壊し、大きな被害が発生した地域で、地域の復興に合わせて水道も復旧・整備する予定として自治体から報告のあったもの。

『家屋等損壊地域における戸数』には、家屋等損壊地域に含まれる戸数を記入すること。

⑧『断水発生日時』には、断水が発生した日時を記入すること。

⑨『今後の断水の発生・拡大見込み』には、今後断水が発生・拡大すると見込まれる場合に、当該見込みについて説明を記入すること。

例：「本日○時頃、配水池の容量が空になり、当該配水エリアの△戸が断水する見込み」等

⑩『現在断水状況』の『復旧戸数』には、断水から復旧した戸数を記入すること。

『未復旧戸数』には、断水から未復旧の戸数を記入すること。

⑪『応急給水』の『応急給水状況』には、給水先や給水時間、給水タンクの設置等、実施している応急給水全体の内容を記入すること。

例：「応急給水車3台により9時～18時まで実施(直営1台、○市2台)」「2地点の給水拠点に1tの給水タンクを設置し、9時～18時まで実施」「応急給水車2台で病院と福祉施設に給水(自衛隊)」等

『応援要請状況』は、「要請済み」、「検討中」、「不要」から選択すること。

『要請先と応援状況』には、応援を要請した対象(及び応援を実施している者)の名称を記入すること。加えて、それぞれの支援による給水車の台数及びその合計を記入すること。

自衛隊の情報については、事業者が応援の全体調整を実施する上でも必要な情報であるため、市町村及び都道府県の災害対策本部等を通じて情報収集し記入すること。

例：「合計 □台」「日本水道協会 ○台(●●市)」「自衛隊 △台」「○●市(協定) □台」等

⑫『応急復旧』の『応急復旧状況』には、応急復旧全体の内容を記入し、完了した応急復旧には【済】と記入すること。

例：「破損した配水管の復旧作業を実施中」「浄水施設の復旧に必要な交換部品を手配中」「浄水施設の修繕【済】」等

『応援要請状況』は、「要請済み」、「検討中」、「不要」から選択すること。

『要請先と応援状況』には、応援を要請した対象(及び応援を実施している者)の名称と応援の実施内容を記入すること。

例：「日本水道協会の手配により、●●市が管路の応急復旧作業を支援」等

⑬『復旧見込み』には、今後の復旧の見込みについて説明を記入すること。

例：「3日程度で断水が解消する見込み」「停電が解消すれば断水が解消する見込み」「検討中」等

⑭『課題』には、応急給水及び応急復旧において課題がある場合に当該内容を記入すること。

例：「給水車が○台程度不足している」「交換部品の入手に時間を要している」「電源を確保したい」等

⑮『減水状況』には、減水を実施した場合に、減水の実施内容を記入すること。

例：「○戸に対する配水量を20%減」「△戸に対して22:00～6:00の時間帯は配水停止」等

⑯『断減水解消日時』には、全ての断減水が解消した日時を記入すること。